

1993年に設立されたWHOの共同組織であるGlobal Initiative for Asthma（GINA ジーナ；www.ginasthma.org）は、2021年5月5日に世界喘息デー（WAD）を開催します。世界喘息デーは世界における喘息の啓発のために毎年5月に開催されています。

WHOは喘息を公衆衛生上の重要事項であると認識しています。WHOによると、全世界で3億3900万人以上が喘息患者であり、2016年には41万7918人が喘息で死亡したと推定されています。

喘息は治癒することはありませんが、適切に管理コントロールすることで、増悪と呼ばれる喘息発作を減らし予防することができます。

今年の世界喘息デーのテーマは「喘息に関する誤解を解く」です。喘息に関する神話や誤解が世間に広まっているために、喘息の管理に関する最新の知見を患者さんが享受する機会が妨げられています。このテーマは、喘息に関する神話や誤解を改める行動を呼びかけるものです。喘息を取り巻く一般的な誤解には次のようなものがあります：

1. 喘息は子供の病気であり、年齢を重ねるにつれて喘息はなくなっていく。
2. 喘息は感染する
3. 喘息患者は運動すべきではない
4. 喘息は高用量ステロイドで治療しないとコントロールできない

しかし、真実は次のとおりです：

1. 喘息はどの年代（小児期、青年期、成人期、老年期）でも発症します。
2. 喘息は伝播しません。しかし、風邪やインフルエンザなどのウイルス性呼吸器感染症によって喘息発作が誘発される可能性があります。また、小児喘息の多くはアレルギーと関連していますが、成人発症の喘息ではアレルギーとの関連性が小さくなります。
3. 喘息が十分に管理コントロールされていれば、喘息患者は運動ができ、トップスポーツを行うこともできます。
4. 大部分の喘息は低用量の吸入ステロイドでコントロールできる病気です。

私たちGINAは、各国・地域で一般的に広まっている喘息の誤解を正す15秒以内のショートビデオを募集しています。サンプルや概要などの詳細についてはお問い合わせください。アイデアやビデオの送信先：k.rurey@ginasthma.org（提出期限は2021年3月30日です）

喘息の啓発のために、世界中の喘息に関する神話や誤解をまとめ、ソーシャルメディアに取り上げる予定です。

世界喘息デーは1998年に初めて開催され、世界的に最も重要な喘息イベントの1つとなっています。世界喘息デーには、世界中の国々で何百もの啓発活動が行われます。GINAと世界喘息デーの詳細については、GINAのウェブサイト：www.ginasthma.orgをご参照ください。GINAが作成した喘息の診断、管理、予防に関する文書もwww.ginasthma.orgで入手できます。

文献:

1. *World Health Report*. Geneva: World Health Organization. Available from URL:<http://www.who.int/respiratory/asthma/en/>, 2018.
2. Global, regional, and national incidence, prevalence, and years lived with disability for 328 diseases and injuries for 195 countries, 1990–2016: a systematic analysis for the Global Burden of Disease Study 2016. *Lancet* 2017; 390: 1211–59.
3. Network GA. *The Global Asthma Report*, Auckland, New Zealand. (2018).
4. *Global Health Estimates 2016: Deaths by Cause, Age, Sex, by Country and by Region, 2000-2016*. Geneva, World Health Organization; 2018.
5. *Global Health Estimates 2016: Disease burden by Cause, Age, Sex, by Country and by Region, 2000-2016*. Geneva, World Health Organization; 2018.